2014 年 4 月発行 No.MB-801-M4
PAT.P

model : MB-801

メモリーバックアップ取扱説明書
12V 車 /24V 車対応

この度は、MB-801 を御買い上げいただき誠にありがとうございます。本ツールは 12V 車 /24V 車のバッテリー交換時に車輌のメモリーの保持と、バッテリー交換時に発生するサージ電圧から車輌を保護する工具です。
正しく、安全にご使用していただくために、作業前に必ず本取扱説明書をお読みいただき、
内容を十分にご理解いただいた上で、注意事項を遵守してご使用ください。またメーカーの整備要領書を用意し、
注意事項などはメーカーの指示に従って作業を行ってください。

<<< 注 意 事 項 >>>

⚠スマートキー車両は、スマートキーが反応しない様に車両から離してください。
⚠市販のセキュリティーシステムを搭載している車両は、セキュリティーシステムメーカーへ
バッテリー交換方法などを必ず確認してから作業を行ってください。
⚠作業前にルームランプ等、消せる電源は全て切ってから作業を行ってください。
⚠本体のOK！ランプが点灯している事を確認してから作業を行ってください。
⚠ぬれた手で作業を行わないでください。
⚠雨・雪など水分のかかる所や、高温・湿気・ほこり・振動の激しい所では使用及び保管はしないでください。
⚠本器をむやみに分解したり、改造したりしないでください。
⚠電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。
また電源コードが傷んだ状態で使用しないでください。
⚠異常・不具合が生じた場合は、ただちに使用をやめて販売店にご相談し、メーカーへ点検・修理を
依頼してください。
⚠バックアップに失敗しますと、メモリーが消去され、アイドリングが不安定になったり
エンジン始動に支障がでる場合があります。
⚠バックアップ作業を始める前に必ず車輌の取扱説明書（バッテリーに関する項目）をお読みください。
車輌側の電気配線によっては、シガーライターソケットからのバックアップでは
メモリーが保持出来ない場合が有ります。
⚠シガーライターソケットの形状が異なる車種には、ご使用なれません。

〇各部の名称とはたらき

本体（※次ページにてランプの説明有り）
供給側バッテリーランプ
車両側ランプ
OK！ 接続確認ランプ
本体内蔵ヒューズ
型式 : MB-801-21A(5A)

出力側 OBD Ⅱコネクター
12V/24V 共用
コードの長さ : 2m

供給側
ワニグチ赤（＋）
ワニグチ黒（－）
コードの長さ : 2m

付属品 シガー変換コネクター
型式 : MB-801-12
（内蔵ヒューズ型式 : MB-801-12A(5A)）

○本体ランプ説明

① 供給側バッテリーランプ

⚠点灯しない場合は使用不可

12V 車は [青色] 24V 車は [赤色] が点灯します。

② 車両側バッテリーランプ

⚠点灯しない場合は使用不可

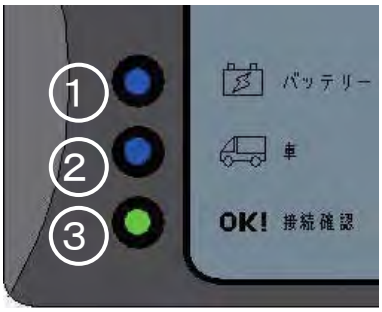
12V 車は [青色] 24V 車は [赤色] が点灯します。
また車両側ランプはサージプロテクター機能の
確認ランプにもなっています。
※供給側ワニグチをバッテリー端子に接続時に起こる
スパークノイズから車両コンピューター（ECU）を
保護する機能

③OK !接続確認ランプ

12V/ 24V 車共に [緑色] が点灯し作業可能となります。

⚠ 点灯しない場合は使用不可

12V 車作業可能時のランプ状態



24V 車作業可能時のランプ状態

○ 使 用 方 法

①車両のキースイッチを「OFF」の位置にしてキーを抜いてください。

⚠スマートキー車両は、スマートキーが反応しない様に
車両から離してください。

⚠市販のセキュリティーシステムを搭載している車両は、
セキュリティーシステムメーカーへバッテリー交換方法などを
必ず確認してから作業を行ってください。

②車両側の全ての負荷機器（エアコン・カーナビ・カーステレオ・
室内灯・熱線など）の電源スイッチを「OFF」にします。

⚠ヘッドライト、ルームランプなどが付いていると、過電流が流れ、
バッテリー上がりや本体内蔵のヒューズ（5A）が働く可能性が
あるので、必ずアクセサリー類の電源は全て切ってください。

⚠特にシガーライターソケットによる、アクセサリー電源供給時に
注意してください。

③ MB-801 の出力側の OBD Ⅱコネクターを車両の OBD Ⅱコネクターに
しっかりと差し込み、MB-801 本体の「車両側ランプ」を確認して
ください。12V 車は [青色] 24V 車は [赤色] が点灯します。

※作業時は初めに必ず、工具の OBD コネクターを車両側の OBD 端子に
接続後に工具供給側のワニグチクリップを電源供給バッテリーへ
つなげてください。

※一部車種の OBD Ⅱ端子の接続が抜けやすい車種がありますので
接続には十分に注意してください。

※万が一作業中に OBD コネクターが抜けた状態で作業を行った場合は、
バックアップの失敗となります。

また本体ランプが点灯しない場合は付属のシガー変換コネクター
（型式：MB-801-12）を本体出力側コネクターに差し込んでから、
車両のシガーライターソケットにしっかり差し込み、
車両のキースイッチを「ACC」の位置にして、
MB-801 本体の「車両側ランプ」を確認してください。
12V 車は [青色] 24V 車は [赤色] が点灯します。
また車両側ランプはサージプロテクター機能の確認ランプにも
なっています。

付属品シガー変換コネクター
使用接続例

⚠シガーライターソケットの接続は確実に行ってください、
接続が不十分ですとバックアップの失敗の原因となります。

12V 車 OBD Ⅱコネクター接続例

12V 車両に OBD Ⅱ端子接続時

24V 車 OBD Ⅱコネクター接続例

24V 車両に OBD Ⅱ端子接続時

④電源供給用のバッテリーを用意します。

⚠12V 車は 12V バッテリーを 1 個
24V 車は 12V バッテリーを 2 個用意して
1 個目のバッテリーのプラス（＋）と
2 個目のバッテリーのマイナス（－）を
延長コードなどでついないで 24V バッテリーにしてください。

12V 車電源供給バッテリー接続例

⑤上記で用意したバッテリーに MB-801 の供給側
ワニグチ赤（＋）をバッテリーのプラス（＋）に接続、
ワニグチ黒（－）をバッテリーのマイナス（－）に接続、

⚠ MB-801 本体の「供給側バッテリーランプ」を必ず
確認してください。
12V 車は［青色］が点灯、24V 車は［赤色］が点灯します。

24V 車電源供給バッテリー接続例

⑥供給バッテリーと車両側が同じ電圧の場合、
MB-801 本体の **OK**！接続確認ランプ［緑色］が点灯しますので
必ず MB-801 本体のランプを確認後、車載バッテリーの交換を
行ってください。

⚠MB-801 本体のランプが
点灯しない場合は、供給バッテリー
不良が考えられますので、
充電又は他のバッテリーへ
交換して、必ず本体ランプの点灯を
確認してください。

⚠30 分以上の連続使用を行わないように注意してください。

12V 車の場合
作業確認
ランプ状態

⚠12V 車で供給バッテリーが
24V の場合は、右記の様に
OK！接続確認ランプは
［緑色］は点灯しません。

24V 車の場合
作業確認
ランプ状態

⚠24V 車で供給バッテリーが
12V の場合は、右記の様に
OK！接続確認ランプは
［緑色］は点灯しません。

⚠全てのランプが点灯している事を必ず確認してから車両の車載バッテリーを交換してください。
点灯しない場合は、絶対に車両のバッテリーターミナルを外さないでください。
再度取り付け状態を確認してください。

⚠本体ランプが全て消灯している場合は、下記の二点を確認してください。
①本体裏側のネジ（4カ所）を外し本体内蔵のヒューズ（5A）が切れていないか確認してください。
切れている場合は、補修部品と交換してください。（型式：MB-801-21A）
②付属のシガー変換コネクターの先端部を回し内蔵ヒューズ（5A）が切れていないか確認してください。
切れている場合は、補修部品と交換してください。（型式：MB-801-12A）

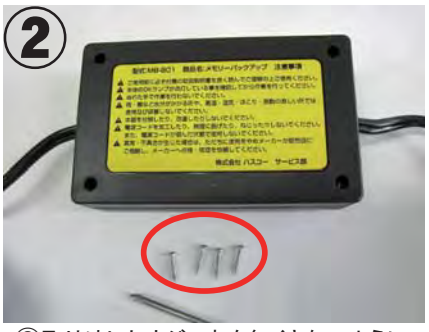
⚠次のページにて本体内蔵のヒューズ交換方法がありますので、必ず交換方法を見ながら
ヒューズの点検・交換を行ってください。

⚠取り外した＋側のバッテリーターミナルを絶縁せずに車両のボディー等と接触させますと回路がショートし、
バックアップが出来ないばかりではなく、スパークする恐れがあり、
感電・ケガ・バッテリーの爆発の原因となります。

○本体内蔵ヒューズの交換方法

本体内蔵ヒューズ部品型式：MB-801-21A(5A)

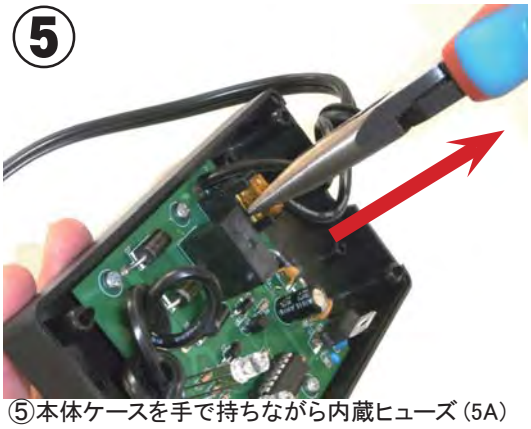
①本体を裏返し、上記の丸印（赤色）
4カ所のネジをプラスドライバーで取り外す。



②取り外したネジ4本を無くさないように
注意してください。

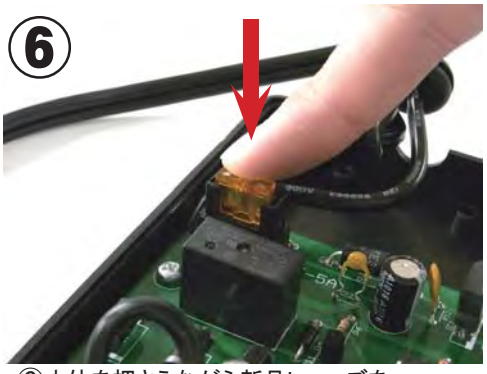
③本体を裏返し、ケースを持ち上げる。

④上記の丸印（赤色）が本体内蔵ヒューズです。



⑤本体ケースを手で持ちながら内蔵ヒューズ（5A）
ラジオペンチ等でを引くと外れます。

※規格（5A）以上のヒューズと
交換しないでください、
最悪の場合、車両のヒューズが切れ、
エンジンの始動が出来なくなります。
※再度車両の電装品スイッチを確認
（OFF）にしてから使用してください。



⑥本体を押さえながら新品ヒューズを
手で押し入れる。

⑦本体ケースを閉める。この時にケース表面にある LED ランプと
左右の配線グロメット（上記の赤色丸印）が
ケースの溝にしっかり入っている事を確認してください。

⑧本体ケースを裏返しネジ 4 本を取り付けて作業終了

⚠無理に本体ケースを閉めると LED ランプや配線が
破損しますので注意してください。

発売元：**株式会社 ハスコー**
業務 G　〒 351-0012 埼玉県朝霞市栄町 3-6-45
TEL (048)461-0101　FAX (048)461-1177　URL http://www.hascotools.co.jp